

第5学年1組 国語科授業案

令和3年7月2日(金)
授業者 陶山 晴代
場所 5の1教室

1 単元名 物語の構成を捉え、山場で起こる変化について考えよう
～「世界でいちばんやかましい音」～

2 本時の学習(8/9)

(1) 目標

- ・ 物語の基本構成である「始まりの場面」「山場に向かう部分(展開)」「山場」「終わりの場面」の役割について考えることができる。(思考・判断・表現)
- ・ 物語の全体像を想像し、積極的に考えたことを伝え合おうとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 本時の授業に対する教師の思い

本時は、「山場」とは大きな変化が起きる場面であることを押さえたうえで、「山場に向かう展開場面」の役割、そして、山場の後の「終わりの場面」の役割、さらには、「始まりの場面」の役割について考える授業である。

そこで、学び合うための手立てを三つ講じる。

・ 手立て①「教具の工夫」

始まりと終わりの町の様子を比較したワークシートを示し、大きく変化したのは山場であることを視覚的に捉えられるようにする。また、各場面の出来事やつながりが一目でわかるように作成したあらすじシートを活用し、それぞれの場面の役割について考えることができるようにする。

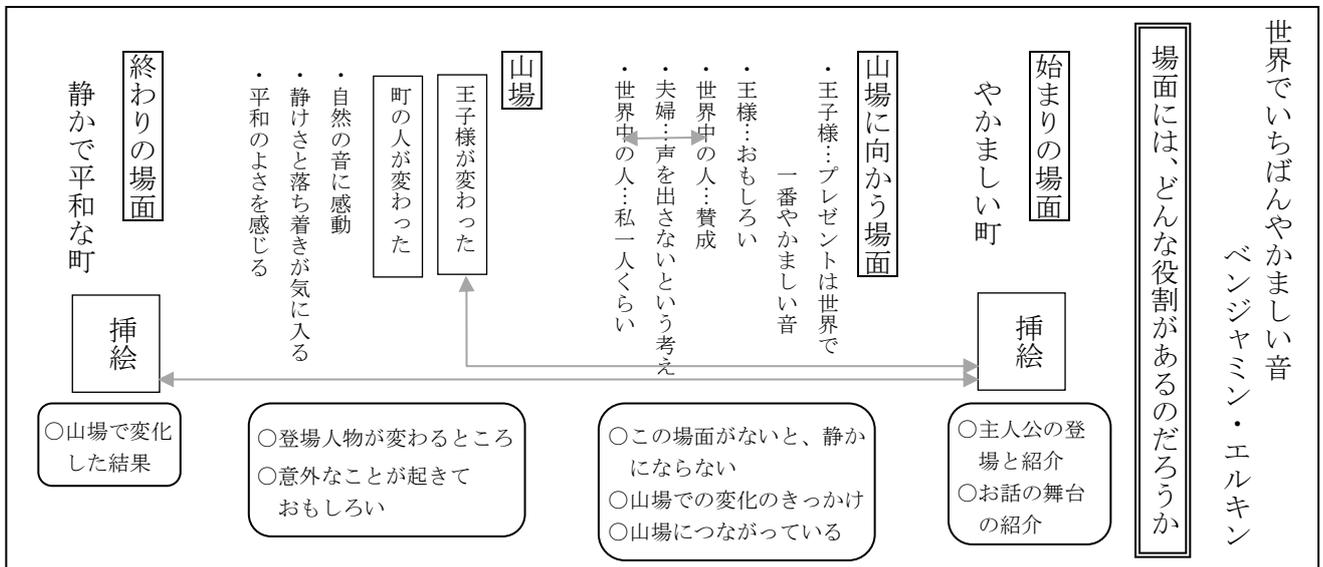
・ 手立て②「板書の工夫」

授業の初めに、黒板の右端に「始まりの場面」やかましい町、左端に「終わりの場面」静かで平和な町と板書をすることで、子ども達の目は、真ん中の空欄に向き、自ずとこの間に何が起きたのかを想起したり考え始めたりするだろう。そこから山場での変化を押さえ、展開場面へとつなげ、最終的に黒板全体に四つの基本構成が並ぶことで、場面間の関係や各場面の役割を考えることができるようにする。

・ 手立て③「グループ活動」

一人ではよい考えが浮かばなくても、グループで話したり、聞いたりするうちに、自分の考えがまとまってくる。本時では正解を求めず、いろいろに考えるという過程を大切にしたい。

(3) 板書計画



(4) 単元構想 (全9時間)

時	学 習 活 動	◎学び合い →留意点 □評価
1	<p>物語を聞いて、感想を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の「山場」という語やその意味を確かめる。 ○ 本単元で身につける「言葉の力：物語の構成をとらえる」を確かめる。 ○ 教材文の範読を聞き、初発の感想を書く。 	<p>→ 感想には以下のことを書かせることで、単元を通じた学習内容を意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 物語のストーリー（組み立て方）で気づいたこと ② 中心人物（王子様）の変化について思ったこと
2	<p>感想を交流して、学習課題を設定しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を読む。 ○ ①と②にわけて、感想を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・最初と最後を比べるようなお話だね。 ・王子様は、やかましい音が好きだったけど、自然の音が好きになったね。 ○ 学習課題を確認する。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>物語の構成をとらえ、山場で起こる変化について考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 毎時間、三人グループで、範囲を指定して音読の練習をする。その際、教え合いながら楽しんで練習できるように、以下のような方法を取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ☆丸読み（丸で交代） ☆完璧読み（丸読みするが、間違えたら交代） ☆丸点読み（丸と点で交代・間を置かずに読む） ◎ 考えを交流するときには、以下のようにして、大勢の前で話すことへの抵抗感をなくしたり、相手意識をもたせたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ☆グループ交流→全体交流 ☆ノートは閉じて話をする
3 4	<p>物語のあらすじをとらえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「時」「場所」「人物」に着目して、物語を7つの場面に分けた後、大きく4つの部分に分ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・「生まれて初めて、王子様は…」は、後の方の場面だね。 ・「もっとやかましい音が聞きたい…」は王子様の言葉で始め。 ○ 起こった出来事を場面ごとに整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・一場面…ガヤガヤの都の人々は、世界で一番やかましいことがじまん。とりわけやかましい王子様は、世界で一番やかましい音が聞きたいと思った。 ・二場面…王子様は、世界中の人が一斉に叫ぶ音を誕生日プレゼントにしてほしいと考えた。王様は、王子様の考えをおもしろいと受け取った。 ・三場面…世界中の人々が、王子様の考えに賛成した。 ・四場面…世界中の人々は、興奮していった。 ・五場面…夫婦が、「声を出さない」と考えた。それが世界中に広まった。 ・六場面…誰も声を出さなかった。ところが、王子様は喜んだ。王子様は静けさと落ち着きを知り、気に入った。 ・七場面…ガヤガヤの町はもうやかましくなくなった。人々は、世界で一番静かで平和だということを自慢するようになった。 	<p>→ 登場人物を確認するために、「誰の言葉ゲーム」(センテンスカードに書かれた文は誰の言葉かを考える)を行う。</p> <p>→ 場面を分け、出来事を整理しやすくさせるために、「どんな順番ゲーム」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆まず、6枚の挿絵を場面の順番に並べ替える。 ☆次に、13枚のセンテンスカードを4つの部分に分ける。 ☆最後に、各場面のカードを順番通りに並べ替える。 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 互いの意見を取り入れながら考えることができるように、グループで最もよいと思う一～二文を考えさせる。 <p>→ 挿絵付きのワークシートを配布することで、見やすく整理することができるようにする。</p> <p>□ 物語の大まかな内容を理解することができたか。(ワークシート)</p>
5	<p>「山場」の前に起こる大きな二つの出来事は何だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 王子様の考えが、世界中の人に広がっていく様子を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ↓ ・王子様の考え：世界で一番やかましい音が聞きたい。 (その方法) 世界中の人が同時にどなる。 ・王様の考え：おもしろい。歴史に名を残せる。 ・世界中の人の考え：おもしろい。喜んで協力しよう。 ○ ある小さな町の一人のおくさんの思いが、世界中の人に広がっていく様子を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ↓ ・おくさんの思い：私も世界で一番やかましい音が聞きたい。 ・だんなさんの考え：口だけ開けて、声は出さない。 おくさん→近所のおくさん→だんなさん→同りょう →友達→その友達 ・世界中の人の考え：口だけは開けて、声は出さない ○ 二つの出来事について気づいたこと、思ったことを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・広まっていく考えの内容が、反対になっているね。 ・みんな自分中心の考え方をしているね。 	<p>→ 二つの考えや広がっていく様子を対比的に整理できるように、ワークシートを配布する。</p> <p>→ 「別に悪気はなかったのですが」の反復表現にも着目させ、この言葉があることで、リズム感やおもしろさが生まれるといった効果について話し合わせる。</p> <p>□ 二つの出来事が起こった順番に気を付けて、整理することができたか。(ワークシート)</p>

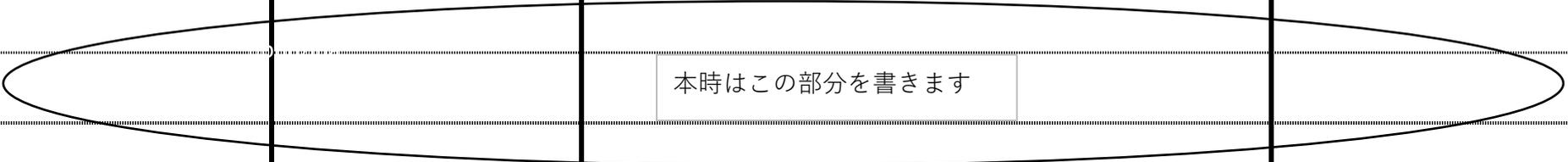
6	<p>「山場」での王子様の変化について考えよう</p> <p>○ 王子様はどう変わったのかを読み取り、なぜ変わったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やかましい音が好きだったけど、自然の音が好きになった。 ・生まれて初めて知った静けさと落ち着きが気に入ったから変わった。 ・ある町の夫婦の考えが広がったことがきっかけになった。 <p>○ 王子様の変化について気づいたこと、思ったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の性格って変わるものなのだな。 ・始まりの場面と反対になっていておもしろいな。 	<p>→ 始まりの場面(王子様の紹介部分)と山場の教材文を並べて示したワークシートを配布することで、王子様の変化を比べやすくする。</p> <p>◎ 王子様の変化について思ったことを交流することで、「山場」の変化おもしろさ、他の場面とのつながりについて気づききっかけにする。第8時に山場の役割を抑えるため、ここでは深く扱わない。</p> <p>□ 王子様の変化とその理由について、叙述を根拠にして自分の考えを伝えることができたか。(ワークシート・発言)</p>
7	<p>町の変化について考えよう</p> <p>○ 町はどう変わったのかを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やかましい町が静かな町になった。 ・町の人にはわがままそうだったけど、やさしくなった。 ・けんかとかが多そうだったけど、平和になった。 	<p>→ 始まりの場面(町の紹介部分)と終わりの場面の教材文を並べて示したワークシートを配布することで、町の変化を比べやすくする。</p> <p>□ 町で変わったものを、叙述をもとに見つけることができたか。(ワークシート・発言)</p>
8 (本時)	<p>「山場」の役割を振り返り、他の場面の役割を考えよう</p> <p>○ 町の人、どの場面で、なぜ変わったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの場面ではもう変わっているから、山場で変わった。 ・山場では、王子様だけではなく、町も変わったんだ。 ・王子様と同じように、自然の音がいいと思ったのかな。 ・町の人にも静けさと落ち着きが気に入ったのだと思う。 <p>○ 「山場」の役割を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物が大きく変わる場面。 ・意外なことが起きておもしろい。 <p>○ 他の場面の役割について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山場に向かう場面」は、山場での変化のきっかけをつくる。 ・「終わりの場面」は、山場で変化した結果を表す。 ・「始まりの場面」は、主人公を登場させる。この物語では、終わりの場面と逆になっている。 	<p>→ 第3・4時で作成したあらすじシートを補助黒板に提示することで、終わりの場面の一つ前の場面「山場」に目がいくようにする。</p> <p>→ 「山場」とはどんな場面かを問い、これまでの学習を振り返らせることで、人物が大きく変化するクライマックスであることを抑える。</p> <p>→ あらすじシートを活用することで、叙述に基づいて考えることができるようにする。</p> <p>◎ グループで話し合いながら考え、あらすじシートに書き込むことで、自分なりの考えをもつことができるようにする。</p> <p>□ それぞれの場面の役割について、叙述をもとに考えることができたか。(あらすじシート・発言)</p>
9	<p>学習を振り返ろう</p> <p>○ 学習を通して、分かったことやできるようになったことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面には、役割があることが分かった。 ・始まりの場面と終わりの場面を比べると、物語全体で何が大きく変わったのかを考えることができた。 ・山場で何がどのように、どうして変わったのかを考えながら、いろいろな物語を読んでみたい。 	<p>□ 分かったことやできるようになったことをまとめたり、伝え合ったりすることができたか。(ノート・発言)</p>

(5) 活動の流れ

○支援 →留意点 □評価

学 習 活 動	教師の支援と評価
<p>1 始まりの場面と終わりの場면을音読する。</p> <p>2 始まりの場面の町と終わりの場面の町の様子を想起し、一言で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始まりの場面の町は、やかましい町 ・終わりの場面の町は、静かで平和な町 	<p>○ グループで音読することで、読むことの苦手な児童Aも一緒に活動できるようにする。</p> <p>→ 前時で比べた町の様子を比較したワークシートを拡大し、補助黒板に掲示することで、町が変化したことを想起させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">町の人は、どの場面で、なぜ変わったのだろうか</div>	
<p>3 町の人の変化について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれていないけど、山場で変わったんだ。 ・山場では、王子様も町の人も変わったんだね。 ・王子様のように、自然の音がいいと思ったのかな。 ・町の人も静けさと落ち着きが気に入ったのだと思う。 ・きっと静かで平和な方がいいと思ったんだよ。 ・ある町の夫婦が声を出さないことにして、それが広がったことが静かになったきっかけだよ。 <p>4 「山場」の役割を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山場は、大きな変化が起きるところ。 ・この物語だと、王子様だけではなく町の人も変わったという変化が起きた。 ・思ってもないことが起きておもしろい。 	<p>→ 第3・4時で作成したあらすじシートを補助黒板に提示することで、終わりの場面の一つ前の場面「山場」に目がいくようにする。</p> <p>→ 変化した理由はいろいろに考えられる。子供たちの自由な想像を大切にしたい。変化のきっかけについて考えた児童がいた場合には、山場の変化は、その前の場面の出来事とつながっていることを確認する。</p> <p>→ 「山場」という言葉とその役割は既習事項である。しかし、明確には捉えることができていない。そこで、「山場」とはどんな場面かを問い、その役割を確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">他の場面には、どんな役割があるのだろうか</div>	
<p>5 他の場面の役割について考える。</p> <p>「山場に向かう場面」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山場での変化のきっかけをつくるころだ。 ・この物語だと、王子様がやかましい音を誕生日プレゼントにしてほしいと言ったことや、夫婦が声を出さないと考えたこと、それが広がったことがあったから、山場で変化が起こったんだ。 ・山場に関係する出来事があるって、山場につながっているということだね。 <p>「終わりの場面」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山場で変化した結果どうなったかがわかるころだ。 ・この物語では、始まりの場面と逆でおもしろいね。 <p>「始まりの場面」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公を登場させて、主人公の性格などを紹介するころだね。 ・この物語では、山場の王子様と逆の性格にしている。 	<p>→ あらすじシートを活用することで、叙述に基づいて考えることができるようにする。</p> <p>○ グループで話し合いながら考え、あらすじシートに書き込むことで、児童Aも自分なりの考えをもつことができるようにする。</p> <p>→ 「どんな役割があるのか」という問いに戸惑っている様子なら、「もしこの場面がなかったら」と問い直す。</p> <p>→ 終わりの場面の町と始まりの場面の町の対比、山場の王子様と始まりの場面の王子様の対比を板書で示すことで、構成の工夫に気づくようにする。さらには、一斉にさけぶという考えの広がり、声を出さないという考えの広がりとの対比に気づけば、その対比にもふれる。</p> <p>→ 本時で答えを出そうとせず、いろいろに考える過程を大切にします。</p>
<p>6 場面の役割について分かったことや思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面には役割というものが分かった。 ・山場がおもしろいのは、その前の場面でのいろいろな出来事が起こっているからだと思った。 	<p>□ それぞれの場面の役割について、叙述をもとに考えることができたか。(あらすじシート・発言)</p>

物語のあらすじをさぐらえよう

終わりの場面	山場	山場へ向かう部分				始まりの場面	場面
⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
 <p data-bbox="896 327 1254 359">本時はこの部分を書きます</p>							
							時
							場所
							人物
							<p>あらすじ</p>